

滋賀県・大津市に「彦根進出断念」を陳情

大津市は「条件が整えばやりたい！」

滋賀県

「場外舟券車券売場建設に反対する自治会連絡協議会」と「場外舟券車券売場建設に反対する会」は11月28日、滋賀県知事、滋賀県議会議員、大津市長、大津市議会議員に対し「彦根市原町に計画している場外舟券車券売場に施行者として参入しな

いよう」陳情しました。陳情書は彦根市長が六月議会で述べた反対理由と周辺四自治会の87%所帯が反対請願に署名した事実を挙げた上で、多くの彦根市民が反対している事情を鑑み彦根進出を断念するよう要請する内容となっています。

「彦根市長が賛成に変われば

彦根進出を考えざるを得ない」

私達の陳情に対応した滋賀県総務部事業課の吉川健史参事は「彦根の場外舟券売場は彦根市長が同意しなければ設置できないので、彦根市長が反対している現状では動けない。しかし、競艇業界としては経営が苦しいので場外舟券売

場を設置して売上げを伸ばしたい。従って、彦根市長が設置賛成に変われば設置を考えざるを得ない。」と述べ、「滋賀県としては彦根に場外舟券売場を設置して売上げ増をはかりたい」との思いに変わりが無いことを示しました。

大津市

「前向きに考えており

条件が整えばやらせてもらう」

大津びわこ競輪場で面談した大津市産業観光部公営競技事務所の矢野清裕所長は「大津市としては前向きに考えており条件が整えばやらせてもらう。」と述べ、彦根市長が反対している現状でも場外車券売場を設置するため積極的に動く姿勢を示しました。私達は「公営ギャンブルの経営が苦しいからといって彦根市民を

犠牲にする事は許せない。彦根進出はやめてもらいたい。」と強く要請しました。今回の面談により、獅山市長の反対にもかかわらず大津市が場外車券売場の彦根進出に意欲を持ち続けていることが確認されました。反対運動をさらに強めなければ(株)トランスワードの建設強行を許すことになりかねません。

署名数三三九〇筆に達す

本年七月から場外舟券車券売場建設反対の請願署名に取り組んできましたが、11月28日に集約した結果「自連協」二二七三筆、「反対する

会」一一一七筆で合計三三九〇筆に達しました。多くの皆様のご協力に感謝しています。これからもよろしくお願ひします。